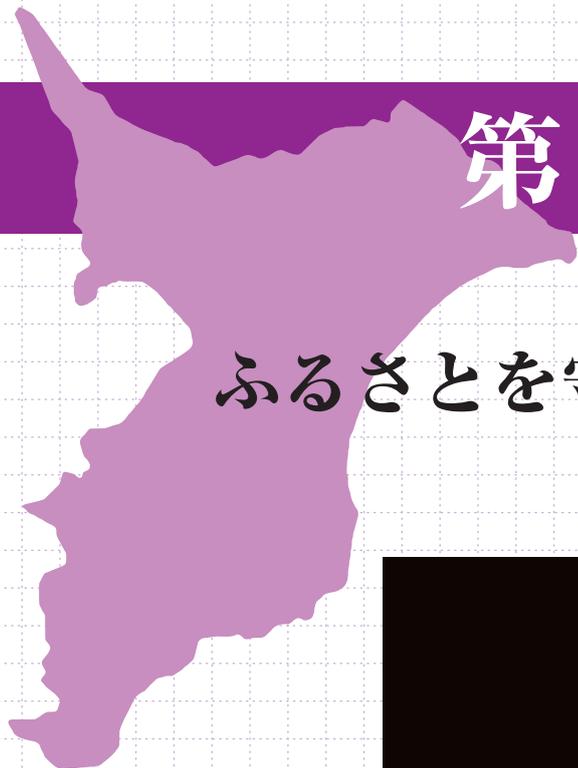




第4章

ふるさとを守る自助・共助



死者1,391人、負傷者41,581人、^{ぜんはんかい}全半壊建物220,076棟、避難者1,455,977人。この数字は、ある冬の平日の午後6時に、東京湾北部を震源域とする、マグニチュード7.3の地震が起こった時、千葉県で発生する被害を予測したものです。(平成19年度 千葉県地震被害想定調査より)

千葉県を含む南関東地域では、今後30年以内に、マグニチュード7クラスの地震が70%の確率で起こるといわれています。

ひとたび千葉県がこのような大地震に襲われたら、どんな状況になるでしょう。その時、わたしたちができること、すべきことは何か、ふだんからやっておくことは何かを考えていきましょう。

災害が発生した時には「自分の命は自分で守る」(自助)、「他人を助け、自分たちのまちを守る」(共助)が必要です。この章を学習して、自助・共助の意識や方法を身につけ、いざという時、^{しんそく}迅速で的確に行動できるようにしておきましょう。そうすることで、災害が発生した時の被害を少なくすることができるのです。